

～ 米軍三沢基地 ～

第35戦闘航空団指揮権交代式



平成30年7月16日(月)、米軍三沢基地第35戦闘航空団の指揮権交代式が行われ、トッド・A・ドージャー准将(左)から指揮権を示す軍旗が、新司令官に着任したクリストファー・W・ストルーヴィ大佐(中央)に渡され指揮権が交代しました。

当日、三沢基地内の航空自衛隊格納庫において、横田基地第5空軍副司令官トッド・A・ドージャー准将の立会いの下、執り行われた指揮権交代式には、基地隊員や種市三沢市長等の地元関係者など約700名が出席し、当局から深澤東北防衛局長と本田三沢防衛事務所長が出席しました。

交代式では、ドージャー准将から、地元との日米交流親善に貢献した功績を讃え、ジョーブ大佐に勲章が贈られました。つづいて、ジョーブ大佐はドージャー准将へ軍旗を返還し、ドージャー准将から新司令官のストルーヴィ大佐へ軍旗が手渡され指揮権が交代しました。

ジョーブ大佐の離任挨拶では、「私は日米同盟と日米の友情の深さを信じている」と感謝の言葉が述べられました。また、後任のストルーヴィ大佐は着任挨拶の冒頭に、「私にとって三沢基地は第二のふるさと、三沢は思い出深いところ」と日本語で語り、「任務遂行のため三沢基地の全員の存在が極めて重要。私も任務に必要な環境を最大限に整えるので、最善を尽くし取り組んでほしい」と隊員に呼び掛けました。

最後に、交代式に参加した関係者に、ジョーブ大佐からストルーヴィ大佐へ名前が張り替えられた司令官機が披露され、指揮権交代式が終了しました。



勲章授与されたジョーブ大佐



後任のストルーヴィ大佐の着任挨拶